

患者中心の医療を学ぶウェブセミナー

SDGsの実践～開発途上国の顧みられない熱帯病制圧活動を通じて

2020年 11月 11日（水）
午後 7時00分～9時00分

ZOOMによるウェビナー

演者

飛弾 隆之さん

エーザイ株式会社

サステナビリティ部 副部長



参加費無料 定員 100名

参加申し込み：info@jppac.or.jp

氏名、所属、お立場を記入ください
後日、**URL**、パスワードをお送りします。



「CSRとは呼ばない！」

「製薬企業ならではのSDGs！」

「Leave no one behind」への示唆は？

主催：
NPO法人 患者中心の医療
を共に考え共に実践する協
議会

協力：
一般社団法人 ピーベック

医薬品産業イノベーション研
究会

企業が一人勝ちする世の中の終焉…垣根を超えて支え合う共存社会へ

本気でSDGsの取り組みをしている企業は、自分たちで革新を起こす可能性を秘めており、社会課題に対してどう向き合っていくかを示そうとしています。

「薬だけではどうにもできない時代が来ることを考えられます。その時、個々の企業や自分たちの業界だけで活動していくのではなく、社会全体で社会課題に取り組む必要性があるのではないのでしょうか。我々は、社会全体をプラットフォーム（基盤）と呼んでおり、新しいプラットフォームを作っていくことが、これから求められていると考えております。業界を越えた連携や協働、パートナーシップが大事になってくるのではないかと考えております。どこか1つの企業が一人勝ちする世の中はもう終わり、共同して社会課題に取り組む世の中になることを予想しています」

出典：豪田ヨシオ部 大学生と企業が力を合わせてSDGs達成を目指します <https://godabu.jp/research/6232>



スーダン・ハルツームで開催されたマイセトーマ国際会議にAARとともに出席した飛弾氏（左端）＝2019年2月

AAR Japan NGO 難民を助ける会 2020.9.16より

飛弾隆之さんのプロフィール

1991年 エーザイ(株)入社 筑波研究所に配属

免疫・炎症領域、新しい創薬ターゲットの探索研究に従事。

2007年 米国バイオベンチャー（抗体技術）買収チームメンバー、駐在

2010年 帰国後 当社診断薬子会社研究開発部門とエーザイ本体のリエゾン

2013年～ 本社部門にて、医薬品アクセス問題を担当

顧みられない熱帯病の一つリンパ系フィラリア症のグローバル制圧プログラムでWHOや他の製薬企業、国際協力をするNGOなどとの連携に取り組む。

SDGs、ESGの取り組みによる企業価値の向上へと守備範囲が拡大中

私たちは「患者協働の医療」の実現のために活動するネットワークです。あなたの参加を心待ちにしています。



NPO法人
患者中心の医療を共に考え
共に実践する協議会